



2018年度入社式 社長挨拶について

三菱製鋼株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：佐藤基行）は、2018年4月2日（月）に本社にて2018年度入社式を執り行いました。

入社式における社長挨拶の内容は以下のとおりです。

新入社員の皆さん入社おめでとうございます。

三菱製鋼を代表してお祝いすると共に、社として皆さんを大いに歓迎いたします。

入社にあたって、私から一言述べさせてもらいます。

当社グループは企業としてありたい姿、あるべき姿として、「お客さま第一」「新技術の開発」「人を活かす経営」「未来への挑戦」「社会への貢献」の5つを経営理念に掲げ、「素材から製品まで」をキーワードに、特殊鋼鋼材、ばね、素形材、機器装置の4つの事業を国内4拠点、海外9か国11拠点、売上規模で約1,100億円、従業員数で4千人強でグローバルに展開しています。

2016年5月に、当社グループの2016年度から5カ年の指針として、「2016中期経営計画」を策定し、現在計画達成に向けスピード感を持って課題に取り組んでいるところです。「特殊鋼をつくり加工する」会社から「付加価値を素材から創る」会社へをスローガンに、従来の素材から製品まで一貫製造するという強みに加え、付加価値を素材から創ることのできる企業への成長を目指します。

その詳しい内容はこれからしっかりと学んでもらいますが、ここにいる皆さんには若い力、エネルギーを是非当社で存分に発揮できるよう、また世界で活躍できるよう、3つの話をします。

1つ目は三菱製鋼の歴史について、2つ目は三菱グループ社員としてのプライド、そして3つ目が私からのメッセージです。

まずは当社の歴史です。

当社の歴史は明治37年、1904年東京スプリング製作所として、紡績機械用の小さなばねをつくることから始まっています。その後鉄道車両用のばねにも参入しました。

よって114年の歴史があるということです。その頃のばねの材料は輸入がメインであり、ドイツ、スウェーデン、アメリカそして僅かですが官営八幡製鐵所からの入手でした。

第一次世界大戦が始まると入手は困難になったそうです。

その時我々の先人は、それなら自分達でばねの材料である特殊鋼を作ろうということで、まったくの素人が特殊鋼の生産を手掛けました。まさに現代で言うベンチャー企業であり、この時より「素材から製品まで」つくり上げる精神と何事にもチャレンジするという精神は今なお綿々と引き継がれています。是非、皆さんも見習って頂きたい。「守り」の姿勢だけでなく、スピード感を持った「攻め」の事業展開を今後も進めていきます。

次に三菱グループ社員としてのプライドです。

今日から皆さんは当社の社員であると同時に三菱グループの一員にもなったのですから、グループ発展の祖であります三菱四代社長岩崎小弥太によって示された「所期奉公」、「处事光明」、「立業貿易」という三菱グループの理念「三菱三綱領」を三菱グループの一員として頭に入れておいてください。

この三綱領の趣旨は、事業を通して豊かな社会の実現に努力し、社会に貢献すると共に公明正大でフェアプレイに徹し、グローバルな視野に立って仕事をせよということです。

3つ目に皆さんに望むことを私からのメッセージとして贈ります。

- ① 仕事の面でも、仕事以外でも何年後には自分はこうありたい、ここを目指したいという夢を持ってください。
- ② これから仕事を通じて色々なことを経験し、上司や先輩などからたくさんの事を学んでいくこととなります。
試練に直面することもあると思いますが、「考えてもらう」のではなく、自身で「考え」、果敢にチャレンジしてください。

色々申し上げましたが、何よりも安全第一です。安全への取り組みは事業活動の基盤となる最優先事項の一つです。また、働く皆さんが生き活きと働くことができるよう「働き方改革」を推進しています。自分自身の健康を守り、明るく楽しく元気よく仕事をしてほしいと思います。皆さんの若い力、活躍を大いに期待しています。



入社式で挨拶をする佐藤社長

以上

(お問い合わせ先：三菱製鋼株式会社 広報・IR部 TEL 03-3536-3118)